



エッセイ

エッセイ

例えば、我が国を取り巻く国際情勢。益々緊張の度合いを増し、先の見えない混沌とした様相を呈しています。平成の時代の中で最も緊張した局面を迎えていました。常に最悪の事態への備えに万全を期すことは不可欠。しかし、私たちの切なる思いはただ一つ。昭和の時代のような悲惨な事態は絶対に繰り返さない、どのような懸念や試練も平和裡に解決されることを置いて他にありません。

2018年。平成30年という節目の年の真っ白なカンバス。

これから、そのカンバスを埋めて行く歴史的事柄が、次々と怒濤のごとく生起して来るに違ひありません。今を生きる私たちは、好むと好まざるとにかかわらず、そのど真ん中に立つ当事者であり、主人公、歴史の証人となります。

私は、かつて広島と沖縄に勤務致しました。

真っ白なキャンバス

(一社)日本東ティモール協会

会長 北原 巖男

(元東ティモール大使)

り組みを続けている東ティモール。我が国にどうモール。平和の中、2002年5月20日の独立回復から16年目を迎えます。あの「坂の上の雲」を目指して國づくりの真っ只中にあります。しかも2011年3月のASEAN加盟正式申請から8年、来年にも期待される加盟実現に向けた正念場の年です。

このような東ティモールのカンバスに描かれる國づくりは、国民の目に見え、且つ国民各階層に等しく実感されるものでなければなりません。

そんな中、独立回復以降今日まで、我が国外務大臣、首相の東ティモール訪問がまだ実現していません。小国ながら地政学的に重要な位置を占め、我が国が輸入する天然ガスの4%近くを輸出している東ティ

モール。我が国にとって、とても重要な国であることは論を待ちません。国づくりに懸命に汗をかいている、ASEAN加盟前の今年こそが、意義深い初訪問のギリギリのタイミングです。

2019年のカンバスに、東ティモール訪問が大きく描かれることを心から願っています。そして、最も大切なことがあります。このエッセイを読んでくださっている読者の皆さんひとり一人の、去年とは違うオシリーワンのカンバス創りです。

主人公はあなた！ 力いっぱいの Good Luck！ です。

（読者の皆さんへ..1年間ご愛読頂き有難うございました。）

「防衛協会会報」2018年(平成30年)1月1日付
全国防衛協会連合会発行